

読書界テーマ…外国の小説



「穴—HOLES—」 ルイス・サッカー

どんなところにもいる少年、スタンリー・イエルナッツは一族にかけられた呪いのために、悪運に悩まされていた。ある日、スタンリーは靴泥棒の汚名にさらされ、青少年犯罪者の矯正施設グリーン・レイク・キャンプに送り込まれてしまう。そして毎日毎日、湖どころか一滴の水もないグリーン・レイクで直径1.5メートル深さ1.5メートルの〈穴〉を掘ることに。彼に〈穴〉を掘らせる所長のたいなる野望とは・・・？

五代にわたる不運をみごとに大逆転する少年たちの、友情とプライドをかけた冒険物語！！ぜひ読んでください。心があたたまります。

1-8 南出 麻結

「青空のむこう」 アレックス・シアラー

人は死ぬと〈死者の国〉へ行き、心の準備ができたなら〈彼方の青い世界〉へ行って生まれ変わる。突然の事故で死んでしまった少年のハリーは、〈死者の国〉で百年以上母親を探し続けるアーサーに出会います。そこで姉のエギーとけんかをしたままだと言う心残りに気づき、アーサーと一緒に〈生者の国＝この世〉に戻り、エギーと仲直りをしようとしています。果たして、ハリーの気持ちはエギーに伝わり、アーサーは母親を見つけることができるのか。私たちに改めて「死」について考えさせてくれる、涙無しには読めない物語です。

1-1 河口 真実

「モモ」

時間は有限である。人生は一度きりである。だからこそ、自分の時間を大切にしなければならないと、「モモ」を読むたびに僕は思う。

時間に追われ、日々の生活に追われ、まるで口癖のように忙しい、忙しいとつぶやくようになる前に、少し立ち止まってみることに。モモはその大切さを教えてくれる。

少し時間があるのなら、ぜひともじっくり読んで欲しい。きっとやさしい気持ちになれるから。もしも余裕がないのなら、冒頭の部分だけでいいから、ちょっと読んでみて欲しい。いつの間にか引き込まれて、いつのまにか、心が少し軽くなるから。

2-6 西島 智未

「オー・ヘンリー傑作選」

短編小説のスペシャリスト。長々と時間はとらせない。エッジの効いたストーリーで、読者を魅了する。マジシャンみたいな小説家。それが、オー・ヘンリーさん。この作品はそんなヘンリーさんの作品の中から、特に魅力、いや、魔力に溢れた20個の短編小説を集めた、その名の通りの「傑作選」です。一つ一つの短編が濃密なので、一つ短編読んだだけでこの作品丸ごと読破したような、そんな勘違いに浸れます。忙しい人にはおすすめの作品ですよ。「二十年後」って短編が面白いです。

1-6 松田 周